

# 西宮市財政事情

平成25年度下半期

平成26年3月31日現在

人 口 486,145人  
世帯数 206,466世帯  
面 積 100.18km<sup>2</sup>

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、平成25年度下半期（平成25年10月1日から平成26年3月31日まで）及び平成26年度の本市の財政事情を次のとおり公表します。

## 1. 平成25年度下半期の状況

### (1) 予算額、収入及び支出の状況

平成26年3月31日現在における予算額、収入及び支出の状況は、第1表及び第2表のとおりです。

予算の構成については、一般会計は1,671億5,315万円、特別会計は823億7,779万円、両会計の合計額は2,495億3,094万円（前年度からの繰越分41億269万円を含む。）となっており、平成25年度9月末日の上半期の予算額から28億3,147万円を増額しています。

一般会計における歳出の補正の主なものとしては、総務費29億9,367万円を増額し、土木費5億3,462万円、民生費5億624万円、衛生費4億1,298万円などを減額しています。

歳入では、繰越金34億4,174万円、国庫支出金13億5,559万円、市税4億4,241万円などを増額し、繰入金30億9,330万円、市債11億8,030万円、分担金及び負担金1億3,363万円などを減額しています。

特別会計では、国民健康保険14億4,197万円、後期高齢者医療事業1億6,729万円などを増額し、介護保険3億152万円などを減額しています。

予算に対する収入及び支出の状況については、一般会計の収入では、市税803億7,144万円（収入率97.3%）、国庫支出金253億9,619万円（収入率92.2%）、市債88億9,540万円（収入率63.3%）などとなっています。

支出では、民生費554億7,814万円（執行率83.7%）、教育費215億4,946万円（執行率88.7%）、公債費202億310万円（執行率99.9%）、土木費141億4,814万円（執行率77.4%）、総務費137億685万円（執行率83.0%）、衛生費114億4,746万円（執行率84.1%）などとなっています。

特別会計では、国民健康保険が収入399億4,220万円（収入率85.0%）と支出438億5,193万円（執行率93.3%）、介護保険が収入219億3,729万円（収入率81.6%）と支出240億8,282万円（執行率89.6%）、後期高齢者医療事業が収入51億1,747万円（収入率88.0%）と支出46億2,677万円（執行率79.6%）などとなっています。

## (2) 市民の税負担の状況

平成25年度予算（平成26年3月31日現在）における市民1人当たりの市税負担は、個人市民税74,656円、固定資産税63,230円、市街地開発等の都市計画事業の一部にあてられる都市計画税は14,680円となっており、市税全体としては169,898円となります。また、1世帯当たりでは、市税全体としては400,042円の負担となります。

前年度と比べて、市民1人当たりで2,055円の増、1世帯当たりで2,971円の増となっています。

## (3) 公営企業の業務状況

中央病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の業務状況は、別途公表のとおりです。

## (4) 繰越事業の執行状況

前年度からの繰越事業の執行状況については、第3表のとおりです。

## (5) 市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高

市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高については、第4表のとおりです。

## 2. 平成26年度 当初予算の概要

新年度の予算編成にあたりましては、中間見直しを行った「第4次西宮市総合計画」の後期計画をスタートさせる年にあたり、メリハリのついた財源配分を行い、計画に掲げた事業を着実に実施していくことといたしました。

歳出においては、アサヒビール西宮工場跡地の用地購入費の計上や、4月からの消費税率引き上げに際し、国の「好循環実現のための経済対策」として実施される低所得者や子育て世帯への給付措置に要する費用を計上したほか、子育て支援、公共施設の耐震化・老朽化対策や学校施設の環境改善、大規模な災害への備えなど、市民ニーズの高い施策や安心・安全を高めるための施策に重点を置いた財源配分を行いました。

歳入においては、市税や地方消費税交付金の増額を見込んでいますが、これに伴って地方交付税や臨時財政対策債は減額が見込まれるため、市有地の売却や財政基金等の取り崩しによって収支の均衡を図りました。

当初予算の規模は次のとおりです。

会計区分	平成26年度	増減額（対前年度）	増減率
一般会計	167,840,289 千円	6,899,282 千円	4.3 %
特別会計	87,622,081 千円	6,562,796 千円	8.1 %
企業会計	51,085,684 千円	9,136,472 千円	21.8 %
合 計	306,548,054 千円	22,598,550 千円	8.0 %

このうち一般会計は、前年度に比べ教育費で約24億円（△10.6%）、公債費で約12億円（△5.8%）の減となっていますが、民生費で約60億円（9.0%）、土木費で約16億円（9.9%）、衛生費で約16億円（11.6%）などが増となっており、全体では約69億円（4.3%）の増となっています。

特別会計（国民健康保険ほか10会計）は、前年度に比べ約66億円（8.1%）の増となっていますが、これは、主に公共用地買収事業が約45億円（4,145.5%）、介護保険が約11億円（3.9%）の増となったことなどによるものです。

一般会計及び特別会計の歳出予算の性質別区分は、第8表のとおりです。

また、公営企業の当初予算の概要については、別途公表のとおりです。

以上が平成26年度当初予算の概要ですが、事業執行に当たっては、更なる精査により事業費の節減や財源の確保に努めるなど、あらゆる観点から見直し、効率的な財政運営に努めます。

第1表

## 平成25年度 一般会計予算とその執行状況

平成26年3月31日現在

(単位:円)

歳入					歳出								
科目	予算額				収入済額 B	収入率 B/A %	科目	予算額				支出済額 D	執行率 D/C %
	9月末 予算額	補正額	予算現額 A	構成率 %				9月末 予算額	補正額	予算現額 C	構成率 %		
市税	82,152,737,000	442,411,000	82,595,148,000	49.4	80,371,438,350	97.3	議会費	978,662,000	△ 23,087,000	955,575,000	0.6	943,981,286	98.8
地方譲与税	796,002,000		796,002,000	0.5	822,941,692	103.4	総務費	7,000,000		7,000,000		3,528,000	83.0
利子割交付金	216,000,000		216,000,000	0.1	284,169,000	131.6	民生費	270,615,000		270,615,000		248,949,000	83.7
配当割交付金	289,000,000		289,000,000	0.2	552,115,000	191.0	衛生費	66,780,735,000	△ 506,244,000	66,274,491,000	39.7	55,478,135,596	
株式等譲渡所得割 交付金	63,000,000		63,000,000	0.0	883,050,000	1,401.7	労働費	14,029,709,000	△ 412,982,000	13,616,727,000	8.1	11,447,455,526	84.1
地方消費税 交付金	3,539,000,000		3,539,000,000	2.1	3,795,216,000	107.2	農林水産費	251,915,000	6,063,000	257,978,000	0.2	189,463,129	73.4
ゴルフ場利用税 交付金	144,000,000		144,000,000	0.1	148,622,545	103.2	商工費	19,120,000		19,120,000		1,113,000	
自動車取得税 交付金	283,000,000		283,000,000	0.2	318,251,000	112.5	土木費	152,055,000	1,986,000	154,041,000	0.1	114,485,544	74.3
地方特例交付金	362,000,000	△ 10,292,000	351,708,000	0.2	351,708,000	100.0	消防費	921,780,000	△ 55,635,000	866,145,000	0.5	645,965,658	74.6
地方交付税	8,097,000,000	297,332,000	8,394,332,000	5.0	8,492,529,000	101.2	教育費	2,462,182,000		2,462,182,000		920,357,953	77.4
交通安全対策 特別交付金 分担金及び 負担金	85,000,000		85,000,000	0.1	75,512,000	88.8	災害復旧費	18,807,355,000	△ 534,624,000	18,272,731,000	10.9	14,148,142,264	
使用料及び 手数料	2,386,442,000	△ 133,630,000	2,252,812,000	1.3	2,032,585,532	90.2	公債費	5,748,626,000	△ 71,053,000	5,677,573,000	3.4	4,973,169,921	87.6
国庫支出金	6,290,876,000	46,300,000	6,337,176,000	3.8	6,161,554,040	97.2	諸支出金	1,343,770,400		1,343,770,400		1,162,275,796	88.7
県支出金	26,180,677,000	1,355,587,000	27,536,264,000	16.5	25,396,188,602	92.2	予備費	24,009,423,400	294,019,000	24,303,442,400	14.5	21,549,464,401	
財産収入	135,120,000		135,120,000		116,000,000								
寄附金	7,827,584,000	27,508,000	7,855,092,000	4.7	6,560,525,781	83.5							
繰入金	2,223,590,000	△ 61,710,000	2,161,880,000	1.3	2,186,223,890	101.1							
繰越金	38,081,000	125,567,000	163,648,000	0.1	168,066,481	102.7							
諸収入	3,378,873,000	△ 3,093,303,000	285,570,000	0.2	174,280,430	61.0							
市債	424,083,400		424,083,400		424,083,400								
歳入合計	802,231,400	3,441,742,000	4,243,973,400	2.5	4,243,973,799	100.0	歳出合計	4,102,687,400		4,102,687,400		2,336,223,749	
	1,466,000		1,466,000		1,466,000								
	5,248,351,000	258,391,000	5,506,742,000	3.3	5,108,685,638	92.8							
	1,873,600,000		1,873,600,000		1,703,900,000								
	15,234,100,000	△ 1,180,300,000	14,053,800,000	8.4	8,895,400,000	63.3							
	4,102,687,400		4,102,687,400		3,428,321,400								
	165,637,544,400	1,515,603,000	167,153,147,400	100.0	157,023,036,780	93.9		165,637,544,400	1,515,603,000	167,153,147,400	100.0	143,412,225,111	85.8

(注) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

第2表

## 平成25年度 特別会計予算とその執行状況

平成26年3月31日現在 (単位:円)

会計名	予算額			収入済額 B	収入率 B/A %	支出済額 C	執行率 C/A %
	9月末予算額	補正額	予算現額 A				
国民健康保険	45,562,904,000	1,441,971,000	47,004,875,000	39,942,199,780	85.0	43,851,934,971	93.3
食肉センター	376,814,000	9,050,000	385,864,000	139,499,523	36.2	337,302,031	87.4
農業共済事業	9,752,000	2,124,000	11,876,000	3,938,396	33.2	10,396,979	87.5
区画整理清算費	1,805,000		1,805,000	1,802,311	99.9	0	0.0
中小企業勤労者福祉共済事業	131,203,000	729,000	131,932,000	76,573,696	58.0	119,355,780	90.5
公共用地買収事業	109,420,000	△ 10,117,000	99,303,000	11,494,356	11.6	95,994,709	96.7
介護保険	27,190,670,000	△ 301,522,000	26,889,148,000	21,937,287,446	81.6	24,082,824,104	89.6
後期高齢者医療事業	5,646,022,000	167,293,000	5,813,315,000	5,117,468,977	88.0	4,626,766,164	79.6
母子寡婦福祉資金貸付事業	58,084,000		58,084,000	60,797,469	104.7	37,163,765	64.0
鳴尾外財産区	24,949,000	500,000	25,449,000	24,947,970	98.0	24,947,970	98.0
集合支払費	1,950,302,000	5,841,000	1,956,143,000	1,577,914,442	80.7	1,781,308,245	91.1
特別会計 合計	81,061,925,000	1,315,869,000	82,377,794,000	68,893,924,366	83.6	74,967,994,718	91.0

## 市民の税負担の状況

平成26年3月31日現在

区 分	平成25年度 予算現額	市民1人 当たりの額	1世帯 当たりの額
市 税	82,595,148,000 円	169,898 円	400,042 円
うち個人市民税	36,293,933,000 円	74,656 円	175,786 円
固定資産税	30,739,102,000 円	63,230 円	148,882 円
都市計画税	7,136,508,000 円	14,680 円	34,565 円
法人市民税	4,208,947,000 円	8,658 円	20,386 円
その他の市税	4,216,658,000 円	8,674 円	20,423 円

人 口                    486,145 人

世帯数                    206,466 世帯

[平成24年度の状況] 平成25年3月31日現在

市税予算額                    81,322,849,000 円

市民1人当たり額                    167,843 円

1世帯当たり額                    397,071 円

第3表

前年度からの繰越事業の執行状況

(平成24年度→平成25年度)

平成26年3月31日現在 (単位:円)

会計名	繰越額	収入済額				支出済額
		国県支出金	市債	その他特定財源	繰越金	
一般会計	4,102,687,400	国 1,184,338,000 県 116,000,000	1,703,900,000	0	424,083,400	2,336,223,749
特別会計	—	—	—	—	—	—
合計	4,102,687,400	1,300,338,000	1,703,900,000	0	424,083,400	2,336,223,749



第4表

## 市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高

平成26年3月31日現在（単位：円）

## 市債の現在高

区分		金額
一般会計		156,523,748,772
特別会計		633,647,876
内訳	食肉センター	264,065,688
	公共用地買収事業	260,400,000
	母子寡婦福祉資金貸付事業	109,182,188
合計		157,157,396,648

## 公有財産の状況

区分		数量 (㎡)	評価額	構成比(%)
行政財産	土地	5,142,475.36	495,908,981	58.4
	建物	1,535,908.72	273,078,446	32.1
	計	6,678,384.08	768,987,427	90.5
普通財産	土地	4,396,148.00	61,183,924	7.2
	建物	29,185.61	3,930,737	0.5
	計	4,425,333.61	65,114,661	7.7
有価証券・その他			15,490,523	1.8
合計	土地	9,538,623.36	557,092,905	65.6
	建物	1,565,094.33	277,009,183	32.6
	有価証券・その他		15,490,523	1.8
合計		11,103,717.69	849,592,611	100.0

## 一時借入金等の状況

一時借入金残額	0
基金繰替運用残額	0

## 基金の現在高

区分	金額
援護資金	150,000,000
耐火物件火災損害填補積立金	1,146,294,577
奨学基金	425,798,766
財政基金	17,994,548,810
農業共済事業基金	13,407,665
「青い鳥」福祉基金	173,955,701
藤田奨学福祉基金	110,545,329
中小企業勤労者福祉共済基金	82,051,184
公共施設等整備基金	17,324,798
教育振興基金	40,374,364
あけぼの基金	23,574,834
緑化基金	25,545,408
図書館振興基金	10,195,431
公共土木施設維持補修基金	162,665,768
減債基金	3,477,957,717
長寿ふれあい基金	71,019,557
スポーツ振興基金	39,991,905
協愛奨学基金	136,543,959
市営住宅敷金等積立基金	585,259,980
文化振興基金	19,777,789
介護給付費準備基金	1,564,745,197
国民健康保険財政安定化基金	1,493,726,593
バス事業基金	0
フレンテ西宮商業床敷金積立基金	49,332,780
学校給食費基金	212,461,456
合計	28,027,099,568

第5表

## 最近5か年間の当初予算の状況

(単位:百万円)

区 分	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数
一般会計	161,080	69.0	101.7	100	174,071	69.9	108.1	108	159,721	66.8	91.8	99	160,941	66.5	100.8	100	167,840	65.7	104.3	104
特別会計	72,299	31.0	104.0	100	75,124	30.1	103.9	104	79,393	33.2	105.7	110	81,059	33.5	102.1	112	87,622	34.3	108.1	121
合 計	233,379	100.0	102.4	100	249,195	100.0	106.8	107	239,114	100.0	96.0	102	242,000	100.0	101.2	104	255,462	100.0	105.6	109

第6表

一般会計の最近5か年間の当初予算財源構成

(単位:百万円)

区 分	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度				
	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	
自主財源	103,542	64.3	96.3	100	102,293	58.8	98.8	99	97,327	60.9	95.1	94	101,586	63.2	104.4	98	103,097	61.4	101.5	100	
内 訳	市 税	81,007	50.3	96.5	100	80,978	46.6	100.0	100	80,350	50.3	99.2	99	82,153	51.1	102.2	101	83,705	49.9	101.9	103
	使用料及び 手数料等	8,446	5.3	101.6	100	8,376	4.8	99.2	99	8,602	5.4	102.7	102	8,677	5.4	100.9	103	8,723	5.2	100.5	103
	財産収入	1,034	0.6	159.1	100	506	0.3	48.9	49	706	0.4	139.5	68	2,223	1.4	314.9	215	716	0.4	32.2	69
	繰入金	5,190	3.2	81.0	100	3,678	2.1	70.9	71	4,285	2.7	116.5	83	3,347	2.1	78.1	64	3,812	2.3	113.9	73
	諸収入	7,843	4.9	96.5	100	8,733	5.0	111.3	111	3,262	2.0	37.4	42	5,149	3.2	157.8	66	6,119	3.6	118.8	78
	その他	22	0.0	100.0	100	22	0.0	100.0	100	122	0.1	554.5	555	37	0.0	30.3	168	22	0.0	59.5	100
依存財源	57,538	35.7	113.1	100	71,778	41.2	124.7	125	62,394	39.1	86.9	108	59,355	36.8	95.1	103	64,743	38.6	109.1	113	
内 訳	地方交付税等	13,257	8.2	93.2	100	17,265	9.9	130.2	130	15,274	9.6	88.5	115	13,874	8.6	90.8	105	14,561	8.7	105.0	110
	国庫支出金	22,362	13.9	144.5	100	28,308	16.3	126.6	127	25,434	15.9	89.8	114	24,505	15.2	96.3	110	28,589	17.0	116.7	128
	県支出金	7,566	4.7	124.7	100	7,701	4.4	101.8	102	7,454	4.7	96.8	99	7,614	4.7	102.1	101	8,541	5.1	112.2	113
	諸収入	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100
	市債	14,353	8.9	95.0	100	18,504	10.6	128.9	129	14,232	8.9	76.9	99	13,362	8.3	93.9	93	13,052	7.8	97.7	91
合 計	161,080	100.0	101.7	100	174,071	100.0	108.1	108	159,721	100.0	91.8	99	160,941	100.0	100.8	100	167,840	100.0	104.3	104	

(注) 自主財源の「使用料及び手数料等」には、分担金及び負担金を含む  
 自主財源の「その他」は、寄附金、繰越金  
 依存財源の「地方交付税等」には、地方譲与税及び交付金を含む

第7表

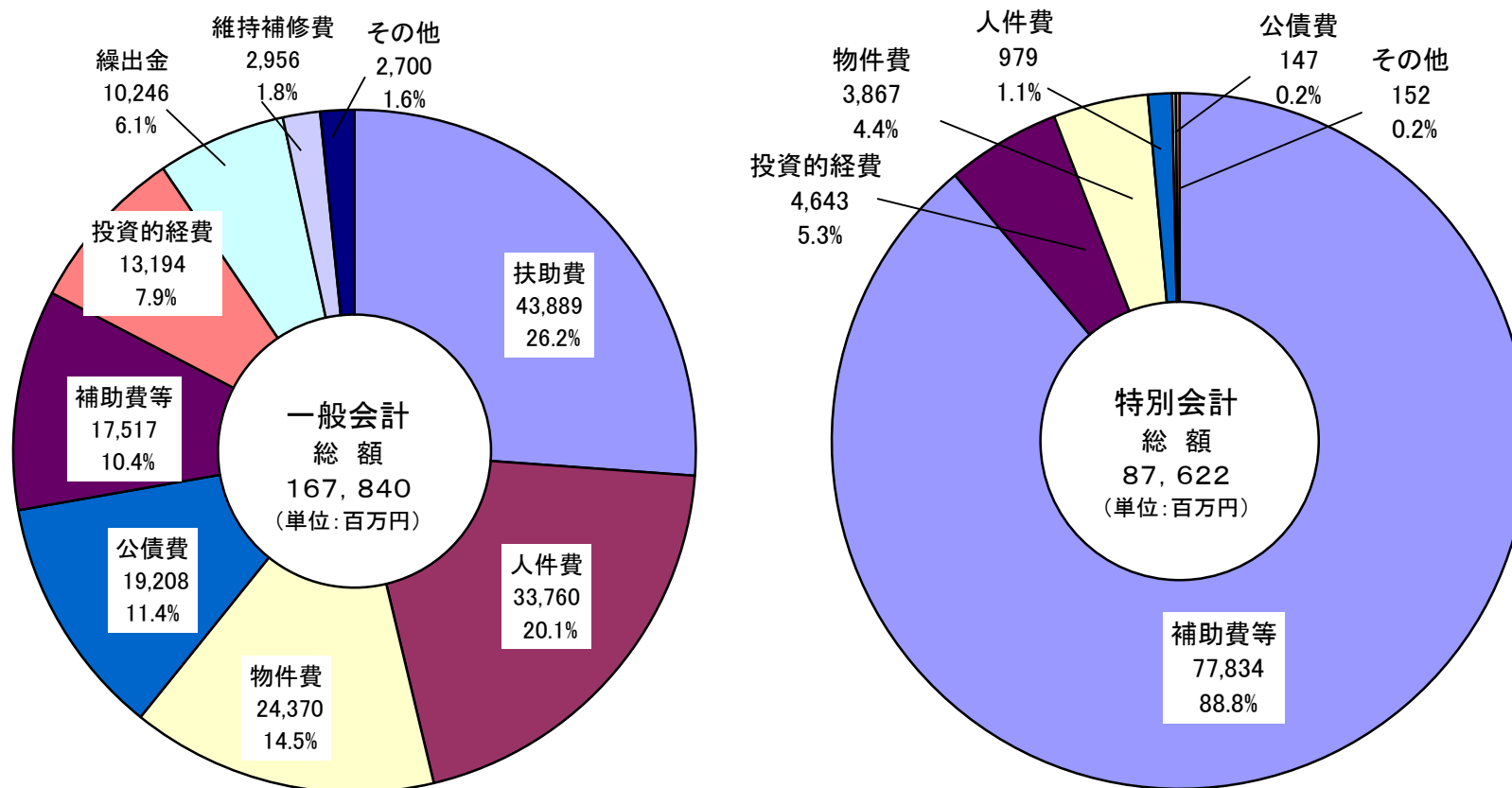
## 一般会計の最近5か年間の当初予算目的別経費

(単位:百万円)

区 分	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数	予算額	構成率	前年比	指 数
議会費	829	0.5	94.7	100	1,091	0.6	131.6	132	969	0.6	88.8	117	979	0.6	101.0	118	955	0.6	97.5	115
総務費	14,867	9.2	94.7	100	15,948	9.2	107.3	107	13,165	8.3	82.5	89	13,485	8.4	102.4	91	14,166	8.4	105.1	95
民生費	58,002	36.0	119.4	100	66,574	38.2	114.8	115	63,596	39.8	95.5	110	66,072	41.0	103.9	114	72,046	42.9	109.0	124
衛生費	14,992	9.3	102.8	100	21,224	12.2	141.6	142	18,062	11.3	85.1	120	13,998	8.7	77.5	93	15,617	9.3	111.6	104
労働費	267	0.2	103.1	100	287	0.2	107.5	107	271	0.2	94.4	101	252	0.2	93.0	94	254	0.2	100.8	95
農林水産費	146	0.1	93.6	100	147	0.1	100.7	101	157	0.1	106.8	108	133	0.1	84.7	91	132	0.1	99.2	90
商工費	1,945	1.2	236.6	100	1,931	1.1	99.3	99	786	0.5	40.7	40	913	0.6	116.2	47	945	0.6	103.5	49
土木費	18,697	11.6	92.2	100	19,685	11.3	105.3	105	17,933	11.2	91.1	96	16,308	10.1	90.9	87	17,928	10.7	109.9	96
消防費	5,704	3.6	107.8	100	5,573	3.2	97.7	98	5,307	3.3	95.2	93	5,741	3.6	108.2	101	6,320	3.8	110.1	111
教育費	18,096	11.2	84.1	100	17,344	10.0	95.8	96	18,295	11.5	105.5	101	22,608	14.0	123.6	125	20,200	12.0	89.3	112
災害復旧費	1	0.0	100.0	100	1	0.0	100.0	100	2	0.0	200.0	200	2	0.0	100.0	200	3	0.0	150.0	300
公債費	24,466	15.2	89.9	100	24,201	13.9	98.9	99	21,112	13.2	87.2	86	20,385	12.7	96.6	83	19,208	11.4	94.2	79
諸支出金	3,018	1.9	98.9	100	15	0.0	0.5	0	16	0.0	106.7	1	15	0.0	93.8	0	16	0.0	106.7	1
予備費	50	0.0	100.0	100	50	0.0	100.0	100	50	0.0	100.0	100	50	0.0	100.0	100	50	0.0	100.0	100
合 計	161,080	100.0	101.7	100	174,071	100.0	108.1	108	159,721	100.0	91.8	99	160,941	100.0	100.8	100	167,840	100.0	104.3	104

第 8 表

平成26年度 一般会計及び特別会計当初予算 性質別経費の状況



<p>* 扶助費…生活保護法等社会福祉関係法等に基づき、被扶助者に対して支給されるもの</p> <p>* 公債費…市債の元利償還金と一時借入金利息</p> <p>* 物件費…需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費など)、委託料、賃借料、備品購入費など</p>	<p>* 補助費等…負担金、補助及び交付金や報償費など</p> <p>* 投資的経費…道路等の公共土木施設や文教施設等の建設事業費</p> <p>* 繰出金…一般会計から特別会計への繰出金</p>
---	--

## 平成 2 5 年度下半期病院事業の業務の状況

### 1. 病院事業の概況

#### 業務実績

平成 25 年度下半期における入院患者数は、延べ 23,624 人（1 日平均 129.8 人）、外来患者数は、延べ 59,695 人（1 日平均 501.6 人）となり、前年同期に比べ入院患者数においては、3,441 人減少（1 日平均 18.9 人減）し、外来患者数においては、1,927 人減少（1 日平均 11.9 人減）しました。

区 分		25 年度下半期	24 年度下半期	増 減	増 減 率
入院	延 患 者 数	23,624 人	27,065 人	△ 3,441 人	△ 12.7 %
	診 療 日 数	182 日	182 日	—	—
	1 日 平 均	129.8 人	148.7 人	△ 18.9 人	△ 12.7 %
外来	延 患 者 数	59,695 人	61,622 人	△ 1,927 人	△ 3.1 %
	診 療 日 数	119 日	120 日	—	—
	1 日 平 均	501.6 人	513.5 人	△ 11.9 人	△ 2.3 %

区 分		25 年度下半期	24 年度下半期	増 減	増 減 率
入院	収 益	1,089,900,642 円	1,197,343,605 円	△ 107,442,963 円	△ 9.0 %
	1 人 1 日平均	46,135 円	44,240 円	1,895 円	4.3 %
外来	収 益	645,410,114 円	603,856,000 円	41,554,114 円	6.9 %
	1 人 1 日平均	10,812 円	9,799 円	1,013 円	10.3 %

## 2. 経理の状況

平成 25 年度下半期における収益的収支の状況は、病院事業収益で一般会計からの補助金 129,423,644 円を含めて 2,024,944,751 円となり、対する病院事業費用は、2,676,134,344 円で差引き 651,189,593 円の純損失となりました。

科目別に前年度同期と比較しますと、収益は、医業収益が 1,871,712,466 円となり、56,486,085 円の減少(2.9%減)、医業外収益が 151,496,709 円となり、8,700,135 円の増加(6.1%増)、特別利益が 1,735,576 円となり、703,285 円の増加(68.1%増)となりました。

収益合計は、前年度同期に比べ、47,082,665 円の減少(2.3%減)となりました。

収益の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業収益では、入院収益において、1 人 1 日平均診療単価が 1,895 円増加(4.3%増)しましたが、延患者数が 3,441 人減少(12.7%減)したため、107,442,963 円の減少(9.0%減)となりました。

外来収益においては、延患者数が 1,927 人減少(3.1%減)しましたが、1 人 1 日平均診療単価が 1,013 円増加(10.3%増)したため、41,554,114 円の増加(6.9%増)となりました。

医業外収益では、国県補助金が 1,245,200 円の減少(15.7%減)、一般会計補助金が 10,721,090 円の増加(9.0%増)などが主な増減となっています。

特別利益の増加は、過年度損益修正益が 703,285 円の増加(68.1%増)したことによります。

対する費用は、医業費用が 2,560,091,655 円となり、38,417,967 円の増加(1.5%増)、医業外費用が 102,130,801 円となり、4,862,691 円の減少(4.5%減)、特別損失が 13,911,888 円となり、5,187,514 円の増加(59.5%増)となりました。

費用合計は、前年度同期に比べ、38,742,790 円の増加(1.5%増)となりました。

費用の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業費用では、給与費が報酬の増加等により 26,805,510 円の増加(1.8%増)、材料費が薬品費の増加等により 16,854,305 円の増加(4.3%増)、経費が報償費の増加等により 28,287,129 円の増加(6.2%増)、減価償却費が 28,070,865 円の減少(21.5%減)などが主な増減となっています。

医業外費用の減少は、繰延勘定償却が 8,832,792 円減少(21.6%減)したことなどによります。

特別損失の増加は、過年度損益修正損が 5,187,514 円増加(59.5%増)したことによります。

損益については、前年度同期は 565,364,138 円の純損失を計上しましたが、今年度は 651,189,593 円の純損失となりました。

資本的収支については、収入が 159,243,883 円、支出が 155,672,386 円となっています。

収益的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	2 5 年度下半期	2 4 年度下半期	増 減 額	増 減 率 %
病院事業収益	2,024,944,751	2,072,027,416	-47,082,665	-2.3
医業収益	1,871,712,466	1,928,198,551	-56,486,085	-2.9
入院収益	1,089,900,642	1,197,343,605	-107,442,963	-9.0
外来収益	645,410,114	603,856,000	41,554,114	6.9
その他医業収益	136,401,710	126,998,946	9,402,764	7.4
医業外収益	151,496,709	142,796,574	8,700,135	6.1
受取利息	0	56,986	-56,986	皆 減
国県補助金	6,703,000	7,948,200	-1,245,200	-15.7
一般会計補助金	129,423,644	118,702,554	10,721,090	9.0
雑収益	158	110	48	43.6
その他医業外収益	15,369,907	16,088,724	-718,817	-4.5
特別利益	1,735,576	1,032,291	703,285	68.1
過年度損益修正益	1,735,576	1,032,291	703,285	68.1
その他特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	2,676,134,344	2,637,391,554	38,742,790	1.5
医業費用	2,560,091,655	2,521,673,688	38,417,967	1.5
給与費	1,550,411,546	1,523,606,036	26,805,510	1.8
材料費	408,913,484	392,059,179	16,854,305	4.3
経 費	485,929,122	457,641,993	28,287,129	6.2
減価償却費	102,385,194	130,456,059	-28,070,865	-21.5
資産減耗費	2,569,883	6,999,420	-4,429,537	-63.3
研究研修費	9,882,426	10,911,001	-1,028,575	-9.4
医業外費用	102,130,801	106,993,492	-4,862,691	-4.5
支払利息及び企業債取扱諸費	8,249,098	9,215,510	-966,412	-10.5
消費税及び地方消費税	-4,275,000	-3,917,000	-358,000	-9.1
繰延勘定償却	32,015,391	40,848,183	-8,832,792	-21.6
雑支出	66,141,312	60,846,799	5,294,513	8.7
特別損失	13,911,888	8,724,374	5,187,514	59.5
過年度損益修正損	13,911,888	8,724,374	5,187,514	59.5
その他特別損失	0	0	0	-
差 引 損 益	-651,189,593	-565,364,138	-85,825,455	—

(注) ①消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理としております。

②下半期の状況は、決算数値(税抜き)から上半期の税込み実績を差し引いた金額となっております。



資 本 的 収 入 及 び 支 出 前 年 度 比 較

(単位：円)

科 目	2 5 年 度 下 半 期	2 4 年 度 下 半 期	増 減 額	増 減 率 %
資本的収入	159,243,883	255,227,558	-95,983,675	-37.6
企業債	37,300,000	47,100,000	-9,800,000	-20.8
出資金	118,043,883	156,787,268	-38,743,385	-24.7
他会計からの長期借入金	3,900,000	51,340,290	-47,440,290	-92.4
資本的支出	155,672,386	254,703,145	-99,030,759	-38.9
建設改良費	62,189,085	65,275,707	-3,086,622	-4.7
企業債償還金	90,933,301	138,087,148	-47,153,847	-34.1
退職給与金	0	51,340,290	-51,340,290	皆 減
投資	2,550,000	0	2,550,000	皆 増
差 引 損 益	3,571,497	524,413	3,047,084	—

## 平成25年度下半期損益計算書 (H25.10.1~H26.3.31)

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
医業費用	2,560,091,655	医業収益	1,871,712,466
給与費	1,550,411,546	入院収益	1,089,900,642
材料費	408,913,484	外来収益	645,410,114
経費	485,929,122	その他医業収益	136,401,710
減価償却費	102,385,194	医業外収益	151,496,709
資産減耗費	2,569,883	受取利息	0
研究研修費	9,882,426	国県補助金	6,703,000
医業外費用	102,130,801	一般会計補助金	129,423,644
支払利息及び企業債取扱諸費	8,249,098	雑収益	158
消費税及び地方消費税	-4,275,000	その他医業外収益	15,369,907
繰延勘定償却	32,015,391	特別利益	1,735,576
雑支出	66,141,312	過年度損益修正益	1,735,576
特別損失	13,911,888	その他特別利益	0
過年度損益修正損	13,911,888	当期純損失	651,189,593
その他特別損失	0		
合計	2,676,134,344	合計	2,676,134,344

(注) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理としております。

平成25年度貸借対照表 (H26.3.31現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,594,108,674	固定負債	2,199,578,582
有形固定資産	3,590,208,674	他会計借入金	2,199,578,582
投資	3,900,000		
流動資産	607,135,292	流動負債	864,314,566
現金預金	12,698,831	一時借入金	320,000,000
未収金	574,846,640	未払金	537,316,497
貯蔵品	19,531,708	預り金	6,998,069
前払金	58,113		
		資本金	11,426,424,279
繰延勘定	124,197,686	自己資本金	10,841,615,355
控除対象外消費税額	11,773,044	借入資本金	584,808,924
退職給与金	112,424,642		
		剰余金	△ 10,164,875,775
		資本剰余金	476,821,385
		利益剰余金	△ 10,641,697,160
資 産 合 計	4,325,441,652	負債・資本合計	4,325,441,652

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 6,128,638,930円

1. 平成 26 年度予算の状況

平成 26 年度事業における業務の予定量及び経理状況は、次のとおりです。

(1) 業務の予定量

ア. 病床数	257 床
イ. 年間入院延患者数 (診療日数 365 日)	55,845 人
ウ. 年間外来延患者数 (診療日数 244 日)	123,952 人
エ. 1 日平均入院患者数	153 人
オ. 1 日平均外来患者数	508 人

## (2) 経理状況

## ①収益及び費用

(単位：円)

収 益 の 部		費 用 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	5,090,831,000	病院事業費用	6,579,258,000
医業収益	4,488,875,000	医業費用	5,383,643,000
入院収益	2,658,222,000	給与費	2,972,073,000
外来収益	1,289,101,000	材料費	892,115,000
その他医業収益	541,552,000	経 費	1,284,640,000
		減価償却費	201,653,000
医業外収益	596,956,000	資産減耗費	4,006,000
受取利息	1,000	研究研修費	29,156,000
国県補助金	7,680,000	医業外費用	121,002,000
一般会計補助金	544,681,000	支払利息及び企業債取扱諸費	20,471,000
雑収益	1,000	消費税及び地方消費税	9,520,000
長期前受金戻入	7,742,000	長期前払消費税額償却	4,808,000
その他医業外収益	36,851,000	繰延勘定償却	48,414,000
		雑支出	37,789,000
特別利益	5,000,000	特別損失	1,071,613,000
過年度損益修正益	3,000,000	過年度損益修正損	7,000,000
その他特別利益	2,000,000	その他特別損失	1,064,613,000
		予備費	3,000,000

## ②資本的収入及び支出

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本的収入	2,812,815,000	資本的支出	2,750,630,000
企業債	1,656,900,000	建設改良費	2,594,900,000
出資金	175,730,000	企業債償還金	143,730,000
一般会計補助金	906,000,000	投資	12,000,000
他会計からの長期借入金	74,185,000		

## 平成25年度下半期水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区 分	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比
給水戸数	226,692 戸	224,991 戸	100.8 %
給水装置数	105,114 個	103,157 個	101.9 %
給水人口	486,032 人	484,403 人	100.3 %
配水量	(25,838,480) m <sup>3</sup> 27,540,690 m <sup>3</sup>	(26,009,400) m <sup>3</sup> 28,009,760 m <sup>3</sup>	98.3 %
一日最大配水量	(12月31日) 159,530 m <sup>3</sup>	(12月31日) 164,500 m <sup>3</sup>	97.0 %
一日最小配水量	(1月1日) 131,110 m <sup>3</sup>	(1月1日) 135,030 m <sup>3</sup>	97.1 %
一日平均配水量	151,322 m <sup>3</sup>	153,900 m <sup>3</sup>	98.3 %

注 配水量の（ ）は内数で、阪神水道企業団及び兵庫県企業庁からの受水量

3月末の給水戸数は226,692戸で、給水人口は486,032人です。

配水量については、前年同期に比べて、

- 一日最大配水量は、3.0% (4,970m<sup>3</sup>) 減の159,530m<sup>3</sup>で、
- 一日平均配水量は、1.7% (2,578m<sup>3</sup>) 減の151,322m<sup>3</sup>です。

## (2) 建設

原水及び浄水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 鳴尾浄水場ろ過機3号設備改良工事
2. 丸山浄水場高感度濁度計設置工事

配水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 東山台低区第1配水槽他電気計装設備改良工事
2. 東山台配水所他水質計器改良工事

また、市内各所の配水管11,452.5mを布設改良しました。

## (3) 受託工事

区 分	平成25年度下半期		平成24年度下半期		前年比
給水装置 修繕工事	1,027 件	宅地内 有料 145 無料 882	1,080 件	宅地内 有料 188 無料 892	95.1 %
給水本管 布設等	2 件	布設 100.4m 撤去 11.4m	0 件	布設 m 撤去 m	-



## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が42億7,565万円（給水収益、受託工事収益等）でこれに対する費用は46億5,499万円となり差引き3億7,934万円の営業損失となります。これに営業外収益（分担金、他会計補助金等）と費用（支払利息等）及び特別損失（臨時損失等）を加減すると当期は、2億9,717万円の純損失となります。

上水道事業		(平成26年3月31日現在)		
科目	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比(%)	
1 営業収益	4,275,649,313	4,305,186,222	99.3	
(1) 給水収益	4,052,164,226	4,095,212,715	98.9	
(2) 受託工事収益	15,582,625	1,838,788	847.4	
(3) その他の営業収益	207,902,462	208,134,719	99.8	
2 営業費用	4,654,991,212	4,770,687,506	97.5	
(1) 原水及び浄水費	364,992,999	417,886,686	87.3	
(2) 受水費	1,685,569,910	1,689,948,313	99.7	
(3) 配水費	377,850,564	438,204,439	86.2	
(4) 給水費	446,806,808	414,738,357	107.7	
(5) 受託工事費	14,955,832	4,349,101	343.8	
(6) 業務費	268,414,797	252,839,976	106.1	
(7) 総係費	455,700,658	500,424,490	91.0	
(8) 減価償却費	1,013,335,961	976,237,410	103.8	
(9) 資産減耗費	26,870,216	75,683,445	35.5	
(10) その他営業費用	493,467	375,289	131.4	
営業利益	-379,341,899	-465,501,284	-	
3 営業外収益	340,101,135	313,988,780	108.3	
(1) 受取利息	741,985	885,128	83.8	
(2) 分担金	210,653,125	220,944,250	95.3	
(3) 他会計補助金	94,125,290	52,648,461	178.7	
(4) 雑収益	34,580,735	39,510,941	87.5	
4 営業外費用	240,521,440	259,067,099	92.8	
(1) 支払利息等	213,170,587	231,454,864	92.1	
(2) 繰延勘定償却	22,972,100	25,426,600	90.3	
(3) 雑支出	4,378,753	2,185,635	200.3	
経常利益	-279,762,204	-410,579,603	-	
5 特別利益	0	0	-	
(1) 固定資産売却益	0	0	-	
(2) 過年度損益修正益	0	0	-	
(3) その他特別利益	0	0	-	
6 特別損失	17,411,286	64,433,194	27.0	
(1) 過年度損益修正損	9,634,786	10,039,668	95.9	
(2) 臨時損失	0	48,592,041	皆減	
(3) 固定資産譲渡損	7,776,500	5,801,485	134.0	
当期純利益	-297,173,490	-475,012,797	-	
前期純利益	297,194,208	301,424,086	98.5	
当年度純利益	20,718	-173,588,711	-	
前年度繰越剰余金	621,061,255	794,649,966	78.1	
当期末未処理剰余金	621,081,973	621,061,255	100.0	

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

水道事業貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
固定資産	107,265,447,754	固定負債	194,632,340
有形固定資産	106,209,536,986	退職給与引当金	11,296,640
土地	8,432,592,642	修繕引当金	183,335,700
建物	4,941,322,670	資金手当債	0
構築物	73,060,225,111	流動負債	2,003,776,097
機械及び装置	18,849,641,054	未払金	1,328,845,858
車両運搬具	98,182,436	前受金	259,758,962
船舶	4,490,841	一時借入金	0
工具器具及び備品	241,450,355	その他流動負債	415,171,277
建設仮勘定	581,631,877	減価償却累計額	43,943,475,181
工事勘定	0	資本金	24,639,128,677
無形固定資産	1,054,224,483	自己資本金	4,719,009,016
投資	1,686,285	借入資本金	19,920,119,661
投資有価証券	0	剰余金	41,129,335,398
出資金	1,686,285	資本剰余金	39,403,346,425
定期預金	0	受贈財産評価額	8,247,981,258
流動資産	4,554,058,139	国庫補助金	3,442,103,471
現金預金	3,186,725,361	県補助金	1,464,000
未収金	926,803,777	市補助金	2,747,689,423
有価証券	0	他会計負担金	207,958,912
貯蔵品	86,887,333	工事負担金	24,734,877,513
前払金	351,904,650	その他資本剰余金	21,271,848
短期貸付金	0	利益剰余金	1,725,988,973
その他流動資産	0	減債積立金	0
前払費用	1,737,018	建設改良積立金	1,104,907,000
繰延勘定	90,841,800	当期末未処分利益	621,081,973
開発費	90,841,800	剰余金	
計	111,910,347,693	計	111,910,347,693

### 3 平成26年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	10,971,139	資本的	収入	1,703,236
	支出	13,197,234		支出	4,376,090
差引		△ 2,226,095	差引		△ 2,672,854

収益的収入及び支出は、一日平均配水量15万3,254<sup>m</sup>（前年度の1.6%減）、給水戸数22万6,948戸（前年度の0.7%増）を対象とした営業活動の予算で、収入総額109億7,114万円、これに対し支出総額131億9,723万円であり、収支差引22億2,610万円が当年度の損失となります。

資本的収入及び支出は、収入総額17億324万円、これに対し支出総額43億7,609万円、このうち建設改良費は31億8,322万円です。なお、収支差引26億7,285万円の不足額につきましては、当年度消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

水道事業については、「西宮市水道施設整備計画（西宮ウォーターリニューアル21）」に基づき災害に強い水道システムの構築を目指し、老朽化した水道施設の更新、耐震化を進めます。また、安定給水を持続できる健全な財政運営を目指すため、簡素で効率的な組織体制の構築や経営基盤の強化に繋がる方策に取り組むこととします。

## 平成25年度下半期工業用水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区 分	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比
給水契約事業所数	49 所	50 所	98.0 %
給水事業所数	49 所	50 所	98.0 %
給水施設数	50 箇所	51 箇所	98.0 %
一日契約水量	26,088 m <sup>3</sup>	26,118 m <sup>3</sup>	99.9 %
配水量	2,416,397 m <sup>3</sup>	2,510,967 m <sup>3</sup>	96.2 %
一日最大配水量	(12月17日) 21,773 m <sup>3</sup>	(10月18日) 26,327 m <sup>3</sup>	82.7 %
一日最小配水量	(1月1日) 8,717 m <sup>3</sup>	(1月1日) 9,108 m <sup>3</sup>	95.7 %
一日平均配水量	13,277 m <sup>3</sup>	13,797 m <sup>3</sup>	96.2 %

3月末の給水契約事業所数と給水事業所数は、前年より1所減の49所で、給水施設数は、前年より1箇所減の50箇所です。

一日契約水量は、前年同期に比べ0.1% (30m<sup>3</sup>) 減の26,088m<sup>3</sup>です。

配水量については、前年同期に比べ、

一日最大配水量が17.3% (4,554m<sup>3</sup>) 減の21,773m<sup>3</sup>で、

一日平均配水量が3.8% (520m<sup>3</sup>) 減の13,277m<sup>3</sup>です。

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が2億35万円（給水収益等）でこれに対する費用は1億8,865万円で差引き1,170万円の営業利益となり、これに営業外収益（受取利息等）と費用（支払利息等）を加減すると、当期は、933万円の純利益となります。

工業用水道事業		(平成26年3月31日現在)		
科目	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比(%)	
1 営業収益	200,347,078	207,501,966	96.5	
(1)給水収益	200,332,012	206,718,754	96.9	
(2)受託工事収益	0	777,000	0.0	
(3)その他の営業収益	15,066	6,212	242.5	
2 営業費用	188,649,265	181,182,728	104.1	
(1)原水費	7,854,563	3,495,062	224.7	
(2)浄水費	10,224,434	9,926,279	103.0	
(3)配水費	48,699,501	47,444,156	102.6	
(4)受託工事費	0	600,000	0.0	
(5)業務費	3,076,930	2,955,581	104.1	
(6)総係費	28,945,887	20,346,879	142.2	
(7)減価償却費	87,877,322	94,987,898	92.5	
(8)資産減耗費	1,961,138	1,424,683	137.6	
(9)その他営業費用	9,490	2,190	433.3	
営業利益	11,697,813	26,319,238	44.4	
3 営業外収益	1,395,997	56,214,044	2.4	
(1)受取利息	927,001	690,331	134.2	
(2)分担金	0	54,996,617	0.0	
(3)他会計補助金	440,000	500,000	88.0	
(4)雑収益	28,996	27,096	107.0	
4 営業外費用	3,762,462	6,376,511	59.0	
(1)支払利息等	3,762,445	4,298,296	87.5	
(2)繰延勘定償却	0	0	-	
(3)雑支出	17	2,078,215	0.0	
経常利益	9,331,348	76,156,771	12.2	
5 特別利益	0	0	-	
(1)固定資産売却益	0	0	-	
(2)過年度損益修正益	0	0	-	
(3)その他特別利益	0	0	-	
6 特別損失	0	0	-	
(1)固定資産譲渡損	0	0	-	
(2)過年度損益修正損	0	0	-	
(3)臨時損失	0	0	-	
当期純利益	9,331,348	76,156,771	12.2	
前期純利益	9,559,158	80,519,310	11.8	
当年度純利益	18,890,506	156,676,081	12.0	
前年度繰越利益剰余金	833,640,277	676,964,196	123.1	
当期末未処理剰余金	852,530,783	833,640,277	102.2	

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

工業用水道事業貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
固定資産	5,805,644,557	固定負債	106,468,525
有形固定資産	5,701,378,132	繰延年賦売却益	0
土地	143,629,252	修繕引当金	76,576,120
建物	233,869,610	退職給与引当金	29,892,405
構築物	3,462,940,330	流動負債	27,767,659
機械及び装置	1,859,044,887	未払金	26,266,096
車両運搬具	1,040,000	前受金	0
船舶	0	その他流動負債	1,501,563
工具器具及び備品	521,021	減価償却累計額	2,428,604,829
建設仮勘定	333,032	資本金	2,078,353,428
工事勘定	0	自己資本金	1,745,521,212
無形固定資産	101,452,710	借入資本金	332,832,216
投資	2,813,715	剰余金	3,345,974,063
土地年賦未収金	0	資本剰余金	2,293,443,280
出資金	2,813,715	受贈財産評価額	735,226,028
長期貸付金	0	国庫補助金	929,077,957
流動資産	2,181,523,947	他会計補助金	157,967,000
現金預金	1,881,845,143	他会計負担金	35,378,050
未収金	46,935,009	建設負担金	49,569,330
有価証券	249,967,250	工事負担金	386,224,915
貯蔵品	2,683,245	その他資本剰余金	0
前払費用	93,300	利益剰余金	1,052,530,783
前払金	0	減債積立金	0
短期貸付金	0	水機構償還金積立	0
その他流動資産	0	建設改良積立金	200,000,000
繰延勘定	0	当期末未処分利益	852,530,783
開発費	0	剰余金	
計	7,987,168,504	計	7,987,168,504

### 3 平成26年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	549,281	資本的	収入	432
	支出	512,631		支出	117,538
差引		36,650	差引		△ 117,106

収益的収入及び支出は、一日平均配水量1万5,670<sup>m</sup> (前年度の0.1%減)、一日契約水量2万6,088<sup>m</sup> (前年度の0.1%減)、給水事業所数49所 (前年度の2.0%減)を対象とした営業活動の予算で、収入総額5億4,928万円、これに対し支出総額5億1,263万円であり、収支差引3,665万円が当年度の利益となります。

資本的収入及び支出は、収入総額43万円、これに対し支出総額1億1,754万円で、収支差引1億1,711万円の不足額につきましては、当年度消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

平成24年10月に大口需要者が給水廃止となり、料金収入の減少等により厳しい財政状況になると見込んでいます。

今後については、中新田浄水場の管理運営について引続き包括委託を実施する等経費削減を図ります。

また、財政状況の改善につながる浄・配水拠点の検討について方向性を定め、関係各市と協議調整を行う等、安全安定かつ経済的合理的な事業運営ができるよう具体的な検討を引き続き行います。

## 平成25年度下半期下水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 業務量

区 分	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比
処理区域面積 (ha)			
西宮処理区	3,106.20	3,106.20	100.0%
武庫川下流処理区	1,113.22	1,113.22	100.0%
武庫川上流処理区	550.72	550.22	100.1%
計	4,770.14	4,769.64	100.0%
処理水量 (m <sup>3</sup> )			
西宮処理区	28,998,250	29,050,350	99.8%
武庫川下流処理区	5,376,281	5,189,053	103.6%
武庫川上流処理区	961,381	950,925	101.1%
計	35,335,912	35,190,328	100.4%

注 上半期における武庫川下流、上流処理区の処理水量は、流域下水道への流入量とする。

#### (2) 建設

公共下水道整備費で施工している主な工事等は、次のとおりです。

1. 西宮浜中継ポンプ場電気計装設備改築工事
2. 鳴尾浜浄化センター汚水調整池内壁改築工事
3. 下水道管渠耐震化（その1）工事



## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が43億8,387万円（下水道使用料、雨水処理負担金等）で、これに対する営業費用の34億4,528万円を差し引くと9億3,859万円の営業利益となります。これに営業外収益（他会計補助金、雑収益等）を加え、営業外費用（支払利息等）、特別損失を差し引くと当期は、7億1,889万円の純利益となります。

### 下水道事業 (平成26年3月31日現在)

科 目	平成25年度下半期	平成24年度下半期	前年比(%)
1 営業収益	4,383,865,674	4,393,752,959	99.8
(1) 下水道使用料	3,067,551,264	3,060,235,875	100.2
(2) 雨水処理負担金	1,174,003,658	1,187,477,973	98.9
(3) 他会計負担金	107,257,119	110,976,649	96.6
(4) その他営業収益	35,053,633	35,062,462	100.0
2 営業費用	3,445,276,475	3,460,368,251	99.6
(1) 管渠費	71,437,903	91,740,498	77.9
(2) ポンプ場費	186,884,399	190,943,451	97.9
(3) 処理場費	591,523,260	574,951,363	102.9
(4) 流域下水道維持管理負担金	90,708,886	57,481,130	157.8
(5) 総係費	228,343,924	198,549,392	115.0
(6) 給与費	313,715,717	315,143,110	99.5
(7) 減価償却費	1,952,433,996	1,941,244,234	100.6
(8) 資産減耗費	10,228,390	90,315,073	11.3
営業利益	938,589,199	933,384,708	100.6
3 営業外収益	734,419,569	774,689,199	94.8
(1) 受取利息	27,051	144,322	18.7
(2) 国庫補助金	541,000	548,000	98.7
(3) 他会計補助金	697,363,984	699,567,991	99.7
(4) 雑収益	36,487,534	74,428,886	49.0
4 営業外費用	944,451,449	1,076,088,434	87.8
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	957,127,546	1,102,667,467	86.8
(2) 消費税及び地方消費税	-33,926,000	-45,990,500	135.6
(3) 雑支出	21,249,903	19,411,467	109.5
経常利益	728,557,319	631,985,473	115.3
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	0	0	0.0
5 特別損失	9,662,415	9,689,874	99.7
(1) 過年度損益修正損	7,045,559	8,265,354	85.2
(2) その他特別損失	2,616,856	1,424,520	183.7
当期純利益	718,894,904	622,295,599	115.5
前期末未処分利益剰余金	2,033,138,139	2,016,332,926	100.8
利益剰余金処分額	779,889,330	725,655,037	107.5
当期末未処分利益剰余金	1,972,143,713	1,912,973,488	103.1

(注1) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とした。

(注2) 下半期の状況は、決算数値から上半期の税込実績を差し引いた金額である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

下水道事業貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
固定資産	224,390,344,826	固定負債	3,964,556,276
有形固定資産	220,199,575,236	企業債	3,650,670,683
土地	28,305,168,538	退職給与引当金	165,051,085
建物	5,319,315,150	修繕引当金	148,834,508
構築物	159,017,002,075	流動負債	2,055,108,257
機械及び装置	24,436,677,142	未払金	1,955,555,864
車両運搬具	10,400,270	前受金	93,918,239
工具器具及び備品	22,070,867	その他流動負債	5,634,154
建設仮勘定	3,088,941,194	減価償却累計額	25,477,202,663
無形固定資産	3,813,062,641	資本金	100,906,626,968
投資	377,706,949	自己資本金	31,847,607,679
出資金	5,089,500	借入資本金	69,059,019,289
長期貸付金	4,643,200	剰余金	95,447,501,669
基金	367,974,249	資本剰余金	93,475,357,956
流動資産	3,460,651,007	受贈資産評価額	22,277,479,389
現金預金	2,302,249,522	国庫補助金	62,547,785,551
未収金	1,158,371,485	他会計補助金	6,558,279,339
前払金	30,000	工事負担金	2,086,355,999
その他流動資産	0	その他資本剰余金	5,457,678
		利益剰余金	1,972,143,713
		当期末未処分利益	1,972,143,713
		剰余金	
計	227,850,995,833	計	227,850,995,833

### 3 平成26年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	12,914,750	資本的	収入	6,898,930
	支出	11,831,790		支出	11,720,513
差引		1,082,960	差引		△ 4,821,583

収益的収入及び支出は、処理面積4,770ha、一日平均処理水量21万500m<sup>3</sup>を業務予定量とした営業活動に伴う収支で、収入総額129億1,475万円、これに対し支出総額118億3,179万円を見込んでおり、収支差引10億8,296万円が当年度の利益となります。

資本的収入及び支出は、収入総額68億9,893万円、これに対し支出総額117億2,051万円で、収支差引48億2,158万円の不足額につきましては、当年度消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金及び利益剰余金処分で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

下水道事業の財政状況は、過去の集中的な整備のために借入れた企業債の償還ピークは過ぎたものの、全体の支出額に占める元利償還金の割合は依然として大きく、その一部に一般会計から繰入を受けるなど、今後しばらくは厳しい状況にあります。より一層の経費削減に努めるなど効率的な経営改善への取組みを進めるとともに、老朽化した施設の計画的な改築更新や浸水被害の防止や良好な水環境の創造に向けた合流式下水道の改善、汚水処理の高度化などの事業を推進します。